

あなたと共に、原発のない未来へ

原子力資料情報室は、政府や業界から独立した立場で原子力に関する調査研究・情報発信を行うNPO法人です。私たちと一緒に、原子力のない世界への取り組みの輪に加わってくださいませんか？

♪ こんな活動に取り組んでいます

- ◇ 「原子力資料情報室通信」「NUKE INFO TOKYO」の発行
- ◇ 「原子力市民年鑑」の製作
- ◇ 核燃料サイクル政策の転換をめざす取り組み
- ◇ 六ヶ所再処理工場周辺の放射能測定プロジェクト
- ◇ 地震と原発問題、原発の老朽化問題
- ◇ 被ばく問題に対する取り組み
- ◇ 原発輸出と国際問題
- ◇ 現地訪問スタディーツアー
- ◇ 公開研究会の開催



原子力資料情報室の活動の中心となるのが、月刊の「原子力資料情報室通信」、隔月刊の英字紙「NUKE INFO TOKYO」(写真)の発行です(「NUKE INFO TOKYO」はウェブ上で公開しています)。また、原子力のデータブック「原子力市民年鑑」を毎年編集・発行しています。

原子力に関わる問題をわかりやすく的確に伝えるよう、スタッフが丸となって取り組んでいます。

♪ 認定NPOになりました

2010年5月16日より「認定NPO」となりました。これを機に脱原発をめざす市民のための機関としての役割を、いっそう確実に果たしていきたいと考えています。

2010年5月16日以降にお寄せいただいたご寄附は、確定申告での「寄附金控除」の対象となります。

♪ 会員になってください

当室は支援して下さる皆様からの会費、購読料、書籍の売上、ご寄付によって支えられています。脱原発の運動をより確かなものにしてゆくため、ぜひともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

下記のお申込み票またはE-mailにて原子力資料情報室までお申込みください。折り返し、原子力資料情報室通信をお届けいたします。到着後に会費・ご購入料を同封の郵便振替用紙にてお振込みください。会員制度の詳細につきましては裏面をご参照ください。

原子力資料情報室 ご入会お申込票

ふりがな お名前	
お申込み内容	正会員 / 賛助会員 / 通信購読 / 「原子力資料情報室通信」見本請求
ご住所	〒
電話番号・E-mail	

お申込み・お問合せは… **認定特定非営利活動法人 原子力資料情報室**

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-5 曙橋コーポ 2B

[電話] 03-3357-3800 [FAX] 03-3357-3801 [メール] cnic@nifty.com [ウェブサイト] <http://cnic.jp>

✧ 原子力資料情報室の会員制度

正会員

(年会費 10,000 円)

- ・総会での議決参加(出席されない方は文書によるご参加)
- ・原子力資料情報室通信(毎月 1 日発行)の 1 部送付
- ・ご入会時に「原子力キーワードガイド」(冊子版)の 1 部贈呈
- ・原子力資料情報室発行のパンフレット・リーフレットを発行時に 1 部送付
- ・一部書籍の割引販売

賛助会員

(年会費 6,000 円)

- ・原子力資料情報室通信(毎月 1 日発行)の 1 部送付
- ・ご入会時に「原子力キーワードガイド」(冊子版)の 1 部贈呈
- ・原子力資料情報室発行のパンフレット・リーフレットを発行時に 1 部送付
- ・一部書籍の割引販売

通信購読

(年間購読料 3,500 円)

- ・原子力資料情報室通信(毎月 1 日発行)の定期購読
(ご入会はせず、「原子力資料情報室通信」のご購読のみを希望の方はこちらをお選びください)

無料メールマガジン「原子力情報宅配便 CNIC EXPRESS」

原子力資料情報室発行の無料メールマガジンです。原子力の現状を伝える最新ニュースや新刊の書籍、イベント案内など独自の情報が詰まっています。当室ウェブサイト (<http://cnic.jp>) よりご登録いただけます。

✧ 原子力資料情報室はこう考えます

○ 原発は早急に廃止されるべきです

放射能災害の危険性、廃棄物のあと始末、核兵器への転用のおそれ…。多くの問題を抱えた原子力発電をできるだけ早く廃止する必要があります。国内メーカーの原発輸出も許されません。原発のある地域や原子力産業で働く人の暮らしなども視野に入れ、脱原発の具体的な方法を考えます。

○ 再処理・プルトニウム利用は即刻廃止

原発の使用済み燃料からプルトニウムを取り出して使用する計画は問題をより複雑にし、危険性を大きくするだけです。核兵器開発への危惧をなくし国際的な摩擦を回避するためにも、再処理のストップを!

○ 放射性廃棄物の管理は発生者の責任で

放射性廃棄物は、発生者が最後まで責任を持って管理していくよう求めます。安易に地下に埋めて責任を逃れようという地層処分は無謀です。後の世代への負の遺産を少しでも小さくするにはどうしたらいいか真剣に考える必要があります。

○ エネルギーの使いすぎから脱却を

エネルギーの使いすぎが地球環境に深刻な影響を与えています。温暖化防止のために CO2 の削減が叫ばれていますが、原発を推進しても CO2 は削減できません。エネルギーのむだを減らすことこそが CO2 削減の途です。エネルギーの作り方、使い方を考えなおし、無駄を省いていくことは十分に可能です。

講演会・学習会へスタッフを派遣します

原子力資料情報室では『地域、職場で原子力の問題を学びたい』という声を募集中です。少人数のグループ向けでも、全国各地にスタッフが出張いたします。原発ってなに? 放射能? プルサーマル? 再処理? 廃棄物処分場? 原発の耐震? 内容・日程など、まずはお問い合わせください。

原子力資料情報室は、みなさまのご支援によって支えられています。
原子力に依存しない世界への取り組みの輪にぜひ加わってくださいませんか—